

被推薦者							推薦者					
氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業経営の状況	認定 農業者 等の 認定	団体名および 代表者	目的	構成員 の数	構成員たる資格	推薦理由
				期間	経歴							
栗原 良夫	78	男	農業	昭和51年3月 ～平成27年3月	蕨市消防団	耕作面積 7,875㎡ 耕作日数 年間210日 主な作物 米	無	わらびりんご 生産管理団体 奥田 光由	事業を完遂 するため相 互の緊密な る連携を保 ち会員に必 要な啓蒙運 動を行い併 せてわらび りんごの効 率的な栽培 及び確保	8人	蕨市内の農業者、農業委 員、農協役員及び本会の活 動に賛同する市民	<p>栗原さんは長きにわたり蕨市農業委員を務め、蕨市の農業情勢を熟知しており、現在、10期目の農業委員を誠実に務めている。</p> <p>また、栗原さんはわらびりんご生産管理団体の副会長として、わらびりんごの生産管理および商品化に尽力しており、市域の狭い蕨市でいかに生産量を増やしていくかという課題に対し、日ごろより地域のコミュニティと密接に関わっている栗原さんが、地域の商業施設の敷地にわらびりんごの苗木を植樹してもらえるよう交渉し、市内店舗に植樹することができた。</p> <p>農業以外の分野においても、和樂備神社の総代会の副会長を務めており、和樂備神社合祀100周年記念事業にあたっては、栗原さんは記念誌の編集委員長としてリーダーシップをとり、記念誌の発行のため尽力した。そのほか、50年以上の間、消防団として蕨市の防災機能に大いに貢献しており、非常に信頼の厚い人物である。</p> <p>今後も蕨市の農業の発展のためには、引き続き栗原さんのような実績と信頼のある人物が農業委員会の委員として必要であるため、推薦する。</p>
			平成8年7月 ～現在	蕨市農業委員会委員								
			平成10年 ～平成26年11月	和樂備神社総代								
			平成26年5月 ～現在	わらびりんご生産管理団体副会長								
			平成26年11月 ～現在	和樂備神社総代会副会長								
			平成27年4月 ～令和8年4月	蕨市消防団第3分団分団長								
			平成28年6月 ～現在	JA さいたま蕨支店運営協力委員会副委員長								
			令和元年7月 ～現在	蕨市園芸緑化研究会副会長								

野崎 正之	57	男	農業	<p>平成28年4月 ～現在</p> <p>令和5年7月 ～現在</p> <p>令和7年4月 ～現在</p> <p>令和8年6月 ～現在</p>	<p>JAさいたま蕨支店運営協力委員会委員</p> <p>蕨市農業委員会委員</p> <p>蕨市園芸緑化研究会会計</p> <p>JAさいたま蕨支店理事</p>	<p>耕作面積 2858.8㎡</p> <p>耕作日数 年間180日</p> <p>主な作物 ショウガ、 ネギ、ジャガイモ、 サトイモ</p>	無	<p>蕨市園芸緑化 研究会</p> <p>奥田 光由</p>	<p>事業を完遂 するため相互 の緊密なる 連携を保 ち会員に必 要な啓蒙運 動を行い併 せて園芸緑 化の発展の 基礎を確立 する</p>	18人	<p>蕨市内の農業関係者、農業 委員、農協役員</p>	<p>野崎さんは令和5年度より農業委員に 就任し、その職務を誠実に全うされてい る。</p> <p>また、蕨市園芸緑化研究会では委員や 会計職を務められているほか、同研究会 主催の「みそづくり講習会」への協力や、 「わらびりんご接ぎ木講習会」への積極 的な参加を通じ、本市の農業振興に多大 なる貢献をされている。</p> <p>さらに、令和8年6月からはJAさい たま蕨支店の理事にも就任予定であり、 今後ますますの活躍が期待される。</p> <p>このように、地域農業への深い理解と 豊富な経験をお持ちであることから、今 後農業委員会に不可欠な人材であると 確信し、ここに強く推薦する。</p>
大貫 八千代	68	女	農業	<p>平成27年</p> <p>平成28年4月 ～現在</p> <p>令和5年7月 ～現在</p>	<p>国勢調査統計調査員</p> <p>JAさいたま女性部戸田支部蕨地区部員</p> <p>蕨市農業委員会委員</p>	<p>耕作面積 214㎡</p> <p>耕作日数 年間150日</p> <p>主な作物 ネギ、 ナス、トマト、ブロッコ リー</p>	無	<p>蕨市園芸緑化 研究会</p> <p>奥田 光由</p>	<p>事業を完遂 するため相互 の緊密なる 連携を保 ち会員に必 要な啓蒙運 動を行い併 せて園芸緑 化の発展の 基礎を確立 する</p>	18人	<p>蕨市内の農業関係者、農業 委員、農協役員</p>	<p>大貫さん、は令和5年度より農業委員 (女性委員)に就任し、その職務を誠実 に全うされている。</p> <p>また、ご主人も蕨市園芸緑化研究会の 委員を務められており、ご夫婦で本市の 農業振興に多大なる貢献をされている。</p> <p>さらに、JAさいたま女性部戸田支部 蕨地区の部員としても、食や農を通じた 健康増進や地域貢献活動に尽力されて おり、同研究会が主催する、市民から大 変好評を得ている「みそづくり講習会」 においても、その手腕をいかんなく発揮 されている。</p> <p>このように、地域農業への深い理解と 豊富な経験をお持ちであることから、今 後も農業委員会の女性委員として不可 欠な人材であると確信し、ここに強く推 薦する。</p>

貫井 辰之介	34	男	農業	平成26年4月 ～現在	就農	耕作面積 5,440.03㎡ 耕作日数 年間285日 主な作物 山椒、キュウリ、ダイコン、ハクサイ、サトイモ	無	蕨市園芸緑化研究会 奥田 光由	事業を完遂するため相互の緊密なる連携を保ち会員に必要な啓蒙運動を行い併せて園芸緑化の発展の基礎を確立する	18人	蕨市内の農業関係者、農業委員、農協役員	<p>貫井さんは大学を卒業後、ご祖父様、お父様のもとに就農し、山椒の育苗・定植の効率化により品質・生産量を向上させる等、大学で学んだ知識を活かして良質な農作物を効率的に生産するべく日々研究している。</p> <p>また、農作物の生産から消費までを横断的に研究しており、平成25年には、食の検定・食農1級に合格し、地域の指導者として十分な知識を習得しているほか、毎年レクリエーション農園として市内保育園等にじゃがいも掘りの場を提供しているなど、農業振興においても貢献している。</p> <p>貫井さんは現在2期目の農業委員を誠実に努めており、高齢化が進む蕨市の農業において、今後の蕨市の農業の担い手として大いに期待される人物であるため、引き続き農業委員会の委員として推薦する。</p>
				平成29年7月 ～現在	蕨市農業委員会委員							
				平成31年4月 ～現在	JAさいたま蕨支店運営協力委員会委員							
				令和元年4月 ～現在	蕨市園芸緑化研究会監事							

奥田 光由	75	男	農業	昭和61年4月 ～令和元年7月	蕨市園芸緑化研究会副会長	耕作面積 12,469㎡ 耕作日数 年間200日 主な作物 米	無	島村 充				<p>奥田さんは、園芸品評会実行委員会会長として蕨市の農業イベント運営に尽力し、地域の農業振興に多大なる貢献をしている。</p> <p>また、わらびりんご生産管理団体の会長を務め、生産技術の研究開発に邁進しており、同団体が開発・販売する「わらびりんごサイダー」「シャーベット」「ようかん」は、蕨ブランドにも認定されている。</p> <p>さらに、農業分野に留まらず、消防団班長、区画整理審議委員、PTA会長、コミュニティ委員等を歴任し、防災、まちづくり、教育、地域コミュニティ推進など、多岐にわたる分野で市政発展に寄与している。その誠実な人柄と実績から、地域住民より非常に厚い信頼を寄せられている人物であることは明白であり、また今後の蕨市の農業を担う中心的な存在であることから、その高い見識と指導力は農業委員会の委員として最適であると考え、推薦する。</p>
				平成元年6月 ～現在	蕨市錦町コミュニティ委員会委員							
				平成3年4月 ～平成6年3月	蕨市消防団班長							
				平成5年7月 ～現在	蕨市農業委員会委員							
				平成10年4月 ～平成11年3月	蕨市立第二中学校 PTA 会長							
				平成20年12月 ～現在	蕨都市計画事業錦町土地区画整理審議委員会委員							
				平成23年12月 ～平成28年3月	戸田市農業協同組合副組合長理事							
				平成26年5月 ～現在	わらびりんご生産管理団体会長							
				平成28年6月 ～現在	JA さいたま蕨支店運営協力委員会委員長							
				平成29年4月 ～令和5年6月	さいたま農業協同組合理事							
令和元年7月 ～現在	蕨市園芸緑化研究会長											

山下 民子	79	女	農業	<p>平成11年7月～現在</p> <p>平成23年6月～平成28年3月</p> <p>平成28年4月～現在</p> <p>平成29年4月～現在</p> <p>令和元年7月～現在</p>	<p>蕨市農業委員会委員</p> <p>JA戸田 理事</p> <p>JAさいたま女性部戸田支部蕨地区部員</p> <p>JAさいたま蕨支店運営協力委員会委員</p> <p>蕨市園芸緑化研究会理事</p>	<p>耕作面積 2,729㎡</p> <p>耕作日数 年間200日</p> <p>主な作物 ハクサイ、 キャベツ、ユズ</p>	無	<p>わらび農産物直売所運営協議会</p> <p>森田 浩之</p>	<p>生産者の栽培技術の向上と市民消費者に新鮮で安全な農産物を提供し、市民との交流を図りながら、都市農業の推進を確立すること</p>	10人	<p>蕨市内に住所を有し、農産物の生産出荷可能な者</p>	<p>山下さんは長きにわたり蕨市農業委員を務め、蕨市の農業情勢を熟知しており、現在、10期目の農業委員を誠実に務めている。</p> <p>また、地産地消、食育の推進に積極的に取り組んでおり、生産した白菜やキャベツなどを農産物直売所と学校給食センターへ定期的に出荷しているほか、過去には山下さんが中心となって市民向けのみそづくり講習会を開催していた。</p> <p>特に、農作物の販売においては、荷造りや販売方法、価格設定など、消費者の目線に立った提案を積極的に行っており、直売所や農業のイベントの円滑な運営に大きく貢献している。</p> <p>引き続き山下さんのような経験・技術を持つ人物が農業委員会の委員として必要であると考え、推薦する。</p>
沖田 昌司	78	男	会社役員	<p>平成22年4月～現在</p> <p>平成24年4月～現在</p> <p>平成28年6月～現在</p> <p>令和4年6月～現在</p> <p>令和6年6月～現在</p>	<p>西小学校区放課後子ども教室実行委員会実行委員長</p> <p>社会福祉法人蕨市社会福祉協議会錦町支部副支部長</p> <p>JAさいたま蕨支店運営協力委員会委員</p> <p>蕨市園芸緑化研究会会員</p> <p>春日町会会長</p>		無	<p>蕨市園芸緑化研究会</p> <p>奥田 光由</p>	<p>事業を完遂するため相互の緊密なる連携を保ち会員に必要な啓蒙運動を行い併せて園芸緑化の発展の基礎を確立する</p>	18人	<p>蕨市内の農業関係者、農業委員、農協役員</p>	<p>沖田さんは、令和4年度より「園芸緑化研究会」の会員として活動に参画し、地域の園芸農業や緑化活動の発展に多大なる貢献をされており、この活動を通じて、地域の農業振興に対する広い知見と高い意識を培ってきている。</p> <p>さらに、令和6年度からは町会長の要職に就き、地域住民の意見を広く汲み上げながら、コミュニティの活性化や防災・防犯対策などの地域貢献活動を精力的に牽引している。この町会長としての経験から、一部の利害関係に偏ることなく、地域全体のバランスを俯瞰的に捉える大局的な視点と、優れた調整能力を身に付けており、農業・園芸への高い関心と、地域コミュニティにおける確固たる信頼・実績を併せ持つ沖田さんであれば、農業委員会の独立性と中立性を担保する「中立委員」として極めて適任であると考え、推薦する。</p>

小宮 弘之	59	男	農業	平成3年4月 ～令和7年7月 令和7年8月 ～現在	(株) 武蔵野銀行勤務 就農	耕作面積 5,007㎡ 耕作日数 年間50日 主な作物 タマネギ、 ササゲ、ナガネギ、 ミズナス、コマツナ、 シュンギク	無	わらび農産物 直売所運営協 議会 森田 浩之	生産者の栽培技術の向上と市民消費者に新鮮で安全な農産物を提供し、市民との交流を図りながら、都市農業の推進を確立すること	10人	蕨市内に住所を有し、農産物の生産出荷可能な者	<p>小宮さんは、ご両親が長年当地で農業に従事し、特に先代は長きにわたり農業委員を務められたほか、現在も蕨市園芸緑化研究会の相談役として地域農業の発展に尽力されている姿を間近に見てこられた。</p> <p>ご自身はこれから本格的に農業経営に携わる立場ではあるが、農地の保全や地域課題の解決の重要性を幼い頃から理解し、地域農業への熱い関心と責任感を持っておられる。</p> <p>先代から受け継がれた知恵と経験、そして新たな視点を併せ持ち、農業者同士の調整や地域との連携においても、誠実かつ積極的な活動が大いに期待できる。</p> <p>新しい世代の立場から、地域農業の活性化と農地利用の適正化に貢献していただけるものと確信し、農業委員として適任であると判断し推薦する。</p>
-------	----	---	----	--	-----------------------	---	---	-------------------------------------	---	-----	------------------------	--